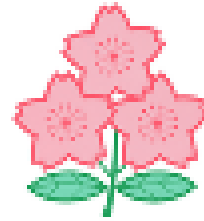


# 煌け! 登美北

平成27年10月2日(金)  
奈良市立登美ヶ丘北中学校  
生徒指導だより  
文責:三間瀬 充宏

## ONE for ALL、ALL for ONE

今、第8回ラグビーワールドカップがイングランドで行われています。19日(日本では20日)に、日本(過去1勝21敗2分)が南アフリカ(過去25勝4敗:優勝国以外に負けたことはない)に勝利し、「奇跡の勝利」や「世紀の大番狂わせ」と騒がれたので知っている人も多いと思います。ラグビーは接触プレーがあるため、地力に勝るチームの勝つ確率がとても高く、番狂わせが少ない競技と言われているためにそのような報道がされました。



Brave Blossoms  
「勇敢なる桜の  
戦士たち」

歴史的勝利に貢献した日本代表フルバックの五郎丸歩選手が、試合後のインタビューで「4年前から、日本ラグビーの歴史を変えようと思ってスタートしたチーム。南アに勝てると信じ切っていたし、それを体現できた」。この勝利は奇跡か必然か、と問われると、「必然です」と言い切り、「ラグビーに偶然や奇跡はありません。長い間、いろいろなものを犠牲にしてきた。間違いなく、世界一ハードな練習をしてきたのです。だから、走り勝つ自信はありました」と応えました。また、自身のツイッターに「ラグビーが注目されている今だからこそ、日本代表にいる外国人選手にもスポットを」と訴え、開幕前、このW杯に懸けるものを聞いたら、「感謝」と即答していました。



なぜ、このような言葉が出てくるのでしょうか。それは、ラグビーには「ONE for ALL、ALL for ONE(一人はみんなのために、みんなは一人のために)」、チーム内でみんながそれぞれのポジションで自分の役割に頑張ると同時に、自分はみんなに支えられることによってチームプレイを楽しむことができる。という暗黙の了解があるためだと思います。だから、ラグビーでは得点をした選手が派手なガッツポーズをすることもあまりありません。それは、このトライは皆で取ったトライ

であるという意識を持っているからです。

みなさんも、文化祭、来週行われる体育大会を目指し、学級や色団で多くのなかまと協力し合い助け合っています。誰が主役やヒーローでもなく、自分に与えられた役割に精一杯取り組んでいます。その行為が尊いことはあなたの傍にいるなかまが一番知っています。そのことを忘れずに今できることに全力で頑張らしましょう。

## 1年の半分(いよいよ後半)

ちょうど1年間の学校生活の折り返し地点に来ました。少しずつ成長を積み重ね、次に何をしたらよいかを考えられるようになってきていると思います。この後、体育大会・職場体験・生徒会選挙などの行事がありますが、自分は何をするべきなのかを考えて、自ら進んで行動していくようにしましょう。そして、3年生は今後の進路を考えるうえで大切な時期になります。今まで培ってきた力を発揮し、やりたいこと、将来の夢を見据えた学校生活や家庭学習に取り組んでいきましょう。(月刊生徒指導10月号参考)

## トイレのスリッパはそろえよう

トイレのスリッパの使い方が悪くなっています。使用後はきちんとそろえるようにしましょう。

